

第30号

平成23年9月

S.P.V. つうしん

●スペースパークボランティアの会●

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201

はやぶさがやってきた! 特集

～はやぶさ帰還カプセル特別展示～



7月27日(水)から31日(日)の5日間、7年の歳月をかけて小惑星「イトカワ」のサンプルを持ち帰ってきた、小惑星探査機「はやぶさ」の

帰還カプセルの展示会が開催されました。

展示会は1回20分の完全入れ替え制で、約7,000人が帰還カプセルを見学しました。

はやぶさが7年間で旅した距離は60億km(東北新幹線はやぶさで、1日中走り続けて2200年かかる距離)。地球に突入した時の速度は、秒速12km(東京から郡山まで約20秒で移動できる速さ)。その時のカプセルの周りの温度は、10000℃～20000℃。全てが桁違いの世界です。

私は27・30・31の3日間、ボランティアに参加しました。いつもの天文の3人の解説員に加え、梅本さん、後藤さんも解説をしていました。また、「はやぶさ」プロジェクトの一



員の小笠原さんの解説もありました。ボランティアに参加したおかげで六人六様の解説を聞くことができました。有意義な3日間でした。(飯泉良江)

小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別展示が、7月27日から31日までの5日間、開催されました。私は会場内の補助として活動しましたが、普段の活動である観望会とは内容が異なるため、始めは少し不安でした。

来場された方は最初に全員で展示物の解説を受け、その後自由見学となりました。

お子さんに説明しながら見学する親御さん、ほぼ2分の1サイズで描かれたはやぶさから、実際の大きさを測ろうとするお子さん、はやぶさプロジェクトに関わった県内企業及び学校の展示物を見て感心されている方など、それぞれに好奇心を満たしていらっしゃる様子でした。中には自分がどれだけこの展示を楽しみにしていたか話してくれるお子さんもいました。



20分の見学時間の終了を告げられてもボードに書かれた説明を見続ける方や、カプセルに目を向けながら出口に向かう方を見ていると、皆さんがこの展示を楽しんでくださったんだなあと感じられました。

今回の特別展示をきっかけに、はやぶさだけでなく、宇宙や日本の技術力にも興味を持っていただけたらと思います。(伊藤智美)

スペースパークボランティア募集! ※無償参加可能な方。他応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。

郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 管理課

TEL024-936-0201

平成23年度 S.P.V新会員の活動の抱負

案内サービスグループ

高所恐怖症ですが少し慣れてきました。

人生「一期一会」といいますが、何人の方とお会いできるか、話ができるか楽しみです。特に、小さいお子さんの感動した時の目の輝きが大好きです。

まだまだ先輩方のようにはいきませんが、一日でも早く“自分流”を出せたらいいなあと思います。

「一時の出会い」を大切に、皆様に喜んでいただけるよう、自己研鑽を積み重ね、地上96mの展望スペースで頑張りたいと思います。（橋本文男）

子育ても一段落して、自分の時間を持つ身分になりました。慌ただしく生活していた日々が、嘘のような毎日です。何か出来ないかな～、思いは少しずつ強くなって行きます。そんな時ふと目を留めたのが、ボランティア募集の広告でした。軽い気持ちの応募でしたが、なんだか自分磨きの、ステキな場所になりそうです。出会いの財産を、多いに楽しみたいと思います。

「ボランティア 楽しむほどに 仲間増え」
（寛 寿美江）

S.P.V 案内グループに参加させていただきありがとうございます。

8月は4回ほど活動いたしました。大変やりがいのあるお仕事だと思います。

基本を守りながら精一杯活動させていただきたいと思います。先輩の皆様方、ご指導のほどよろしくお願いたします。（H・佐藤）

鉄道ジオラマグループ

7月よりふれあい科学館にてボランティア活動しております。こちらで活動を行うようになったのも何かの縁だと思いますのでよろしくお願致します。これまですでに5回ほど活動を行いましたが、担当範囲が思ったより狭いことに少し驚きました。

鉄道ジオラマの担当を少しでも長く継続していけるように、毎回新しい工夫をしながら活動を行っていきたいと思っています。

まずは、お客様に気軽に話しかけられる存在になれるよう頑張りたいと思います。（千葉昇）

科学グループ

4月に転勤で初めて郡山に来ましたが、その時、科学館は地震の影響で休館中でした。GW後の科学館が開館した直後に、初めて入館し、その時の印象は、結構面白い展示をしている所だと思いました。そして、ボランティア募集のパンフレットを見て、月に2、3日ならば、気軽に出来るかなと思い応募しました。

7月から、活動に参加していますが、思ったとおり、気軽に楽しく活動させていただいています。これからも、皆さんよろしくお願いたします。（内田豊）

先日、初めて活動に参加しました。小さい子供にとってブービー笛は難しかったようで、ほとんど私が作ってしまいました。でも、子供たちは、たとえ自分では作らなくても、作り手の手元を見つめていだけで自分の物という気持ちになるのでしょうか。真剣に見つめられながら作った笛が無事に鳴った時の子供たちのにっこりと満足そうな顔が忘れられません。面白い発見でした。これからも孫と遊ぶ気分で参加したいと思います。（上野悦子）

小学生を対象にした実験教室の講師を勤めていましたが、帰郷後も科学の面白さをみんなで共有したく応募いたしました。子ども達と一緒に「なぜ?どうして?」を楽しんでいきたいと思っています。まだ分からないことも多く、沢山の方に育てて頂きながらの活動になりますが、どうぞ宜しくお願いします。（山田善貴）

天文グループ

はじめまして。昨年度星空案内人となり、仕事に追われていると接する機会がないため、天文情報のある環境に自分を置くために加入しました。

活動の前には、多少の予習をして臨んでいます。先日も「はやぶさカプセル」の展示補助に従事し、イオンエンジンの構造をちょっとだけ学びました。微力ですが、自らが楽しみながら、少しでも天文ファンが増えるように尽力できればと思っています。これから、よろしくお願いたします。（天野章弘）

宇宙が好きで、S.P.Vに入りました。あまり詳しくはありませんがこれからいろいろ勉強していきたいと思っていますし、ボランティアを通してたくさんの方のことを学んでいけたらいいなと思っています。生まれて初めてのボランティアなのでワクワクしています。みなさんのご迷惑にならないように、楽しく頑張りたいと思います。（柳田利紗）

大阪の森ノ宮出身、現在は大学生で栃木県の宇都宮からの参加になります。

天文には2001年11月ころから興味を持ちまして色々勉強しております。きっかけはこの年に見た「しし座流星群」です。自分があの時にした感動をたくさんの方々に少しでも、してもらえよう活動が出来ればと思います。近年はお台場や宇都宮の街角観望会などにスタッフとして協力するなどしてましたが、こちらでもお役に立てるよう頑張らせていただきます。どうぞ、よろしくお願いたします。（武島佑季）

私は二本松市(旧安達町)出身です。実家は周りに民家が少ないせいか暗く、星空を見るには適していたのか、よく眺めてました。またプラネタリウムを見るのが好きで、西口広場で観望会をやっていることを知り、申し込みました。前回の観望会で、望遠鏡で月を見てとても綺麗でした。他の天体もこれから見てみたいと思いました。よろしくお願いたします。（安齋裕）

科学グループ



サイエンスフェスティバル

今年の科ボラでは、「ブーブー笛」を行ないました。

この「ブーブー笛」、作れば必ず鳴らせるものという訳ではなく、うまく鳴らないこともあります。多くの方々が来場されたサイエンス・フェスティバルでも、なるべく失敗をなくすことに注力しました。7月も8月も期間中はたくさんの方々が来場されましたが、私のいた日は失敗しても一人か二人程度ではなかったかと思えます。

また、風船をストローでふくらますという作業も小さいお子さんには難しかったですが、あらかじめ空気入れてふくらませておくことでお子さんでもふくらませるようになりました。実際に自分で吹いて音が鳴らせたときはかなり嬉しい様子でした。

小さいお子さん向けに親が作られたり、団体での参加、お年を召した方々など幅広い方々に参加していただき、皆さん喜んでいただきました。やはり、大きな音の鳴る「ブーブー笛」がよかったのだと思います。

まだ現在は作り直しをすることもあります。ボランティアのみみなで協力して、どのようにすれば確実に鳴るようになるのか工夫していきたいです。

(野津裕二)



案内サービスグループ

昔懐かし
紙芝居

頑張っています

東日本大震災以降、各地で様々なボランティアの活躍が注目を集めている今、我々もS.P.Vとして意気上がるもの、もしかしてマンネリズムに陥っているのではないかと、反省をしなければという一面もあります。

そんな中で、最近案内グループ内に新しい芽吹きを感じさせるニュースがあります。

一つめは、先日、歴史好きのS.P.Vを中心に行われた郷土史の勉強会です。幸い、新会員の方も興味を示して下さいました。判で押したような風景の説明ではなく、ちょっとした、いにしえのエピソードで味付けできれば、来館者様にも郡山市の、さらにはふれあい科学館の印象が一層強く残ることでしょう。

二つめは、ふれあい科学館にマッチした紙芝居を自分たち

で作ろうという動きです。

S.P.V創設当時は会員の方々によって紙芝居が自作されていたという話も聞きましたが、10年近く経過した今、再びそのような意欲の湧き上がってきたメンバーがいるということに嬉しさを感じます。

私も何かお手伝いしたいとは思いますが「あなたはそばで見ているだけにしてください。」なんて言われてしまいそうで……。

(橋本 隆)



内田博士の 魂の叫び!! ②4 『水戸黄門に学ぶ』

水戸光圀が家臣の佐々木助三郎、渥美格之進、八兵衛、矢七、お銀とともに諸国漫遊の旅先で世直しをするという物語。矢七の存在はカッコ良い。前置きはさて置き、番組の終盤、悪人共との立回りもそこそこに。“静まれ〜い! 静まれ! 静まれ〜い! ここにおわしますお方を誰と心得る! 先の



副将軍水戸光圀公にあらせられるぞ! ご老公の御前である! 頭が高〜い…(葵のご紋の印籠を出す)” “はっは〜っ!(一同臥

拝)…”ここから、ご老公のお咎め。最後に、正直者故にチヨイと魔が差してしまった貧乏人の夫婦がありがとうございます〜と涙を流す。〜水戸老公とその一行の旅は続いたのであった。(続く)

何と言っても、“頭が高〜い”と印籠を出した瞬間、あの悪党共が一斉に怯み臥拝する姿に日常・世間・生活の中では味わうことの出来ない爽快感を覚えるのです。常に矛盾と妥協の中で生きて行かねばならない現実の中で、本来の欲求である物事の明快さを疑似体験出来るわけです。様々な情報が錯そうし、やり場のないときこそ、〜♪人生楽ありや苦もあるさ♪〜と声高らかに歌って行きたいものです。

天ボラの

知識の泉²⁹

●海王星

太陽系の8番目の惑星で太陽系の一番外側の軌道を回っています1846年の9月23日にドイツのヨハン・ガレにより発見されました。

太陽からの平均距離45億445万km・直径は地球の約4倍・質量は地球の17.15倍・衛星の数13個・環も4本見つかっています、公転周期(太陽の周りを一周する期間)164.774年で、今年は海王星が発見されてからちょうど太陽の周りを一周してきた記念の年となります。

明るさは、7.8等と暗いため肉眼では見ることはできませんが、双眼鏡や望遠鏡を使うと簡単に見ることができます。

今年はみずがめ座の中にいますので晩夏から初冬にかけて見頃になります、望遠鏡で見ても青緑色の小さな円盤状には見えませんが、各地の天文台の観望会などに伺ったときには、ぜひ太陽系最果ての惑星『海王星』を生でご覧ください。(鈴木 光雄)

今号のきら星☆さん 天文グループ 田中 鐵五郎さん

初の人工衛星「スプートニク」が打ち上げられたのは小学6年生の時でした。

明け方の空をよぎった、ライカ犬を乗せた衛星の明るい光跡は今でも目に浮かびます。

父が星座を教えてくれたことや、その時々天文現象の解説をしてくれて、生意気な小学生の質問にも丁寧に答えてくれた担任の先生の影響もあって、将来は天文学者になるという夢を抱いていた小学生時代でした。さらに、アポロ8-11号は大学生の時、テレビの生中継を食い入るように見ていました。

しかし忙しさに紛れて、いつしか夜空を見上げることもなくなり、天文学ともすっかり縁遠くなっておりましたが、仕事の一線を退き、時間の取れるようになった3年前、ふれあい科学館の天文カレッジを受講しました。そして、星空案内人

の認定を受けた2年前から、天文ボランティアに参加しています。観望会のお手伝いをしながら、自分でも星空の観望を楽しみ、幼い頃の宇宙にはせた夢を、少しでも実現できればと思っています。

観望会では、子供さんたちに星空観望の楽しさや宇宙のことを、興味深く分かりやすく、正確に伝えることの難しさも感じていますが、同時に、天体望遠鏡で月や土星を見て感激してくれる人がたくさんいて、とても嬉しく感じています。今後ともよろしくお願いたします。



S.P.V 活動情報(～12月)

ほかに公民館など市内出張活動を予定

案内サービス “昔懐かし”紙芝居(約15分)

◇随時実演 ☆展望ロビー(北)

鉄道ジオラマ ジオラマショー案内(約20分)

◇11:00～、15:00～、17:00～ ☆展望ロビー(東)

科 学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00～15:30 ☆21階展示ゾーン入館者対象

天 文
天体観望会

◇10/1(土) 17:30～18:30 ☆郡山駅西口駅前広場

◇11/5(土) 18:00～19:00 ☆郡山駅西口駅前広場



※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第31号 12月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

編集
あとがき

(隆) 頑張ろうコールの中、死ぬ程ぐわんぱった人、適当にGANVATTA人、チョッピリカンパッタ人、み～んなエライ!

(国) 暑さ寒さも彼岸までといわれるが、もう少しの辛抱です。体調崩さず頑張りましょう。

(熊) 今年度も後半戦!科学Gは出張活動を再開です!自主企画もがんばるぞ～!

(星) 7年の旅から帰還したはやぶさカプセルがやってきた『おかえりー!!』あきらめない元気パワーを与えてくれたようです…☆